

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
振替貯金口座00190-2-97953
©日刊建設通信新聞社 2009

一步先行く

I T S工房 独自様式でも簡単作成 労務安全書類化システムを取得

建築内装工事業に特化した業務効率化ソフトの開発・販売、積算受託、社員教育などを手掛けるI T S工房(本社・千葉市、中嶋弘慈社長)は、

イーフォート(東京都中央区)から安全書類作成業務の効率化を支援する労務安全関係書類作成システム「Staff-List-Builder(スタッフ・リスト・ビルダー)」事業(会員1000社)を取得し、3月1日から同システムの販売を開始する。

専門工業者が自社や協力会社などの住所、代表者、建設業許可、社員の情報や作業員の氏名、住所、健康診断の受診状況、資格、免許などの情報を事前に登録しておけば、書類作成時には選択するだけで、それぞれのゼネコン独自の様式であっても労務安全関係書類作成を簡単に作成できるシステム。全統一様式のほか、大手ゼネコン約30社の安全書類(グリーンファイル)に対応している。ゼネコンでフォーマットが異なり、同じ内容をいろいろなフォーマットにつくり直さなければならなかった手間が省ける。

7次下請けまで登録できる。また、自社で人員などの要因から外注したい場合は、基礎データの入力や現場ごと書類作成の作業の代行業務も行ってあるので、小規模の企業でも採用しやすい。ソフトはダウンロード形式。入会金は1万5000円(税別)、年会費1万円(同)で、使用するパソコンの台数分だけ必要になる。

また、ゼネコンの現場事務所への導入も働き掛けている。ゼネコンが採用することで、現場で作業する専門工業者の安全管理の種類をパソコン1台で一括管理でき、現場事務所内の書類を減らせる。会費などは未定だが、月額で設定する考えでいる。

作成したデータは、すべてエクセルに出力されるので、データ出力後でも自由な編集や加工が可能で、関連会社とメールなどでのデータのやり取りも容易なのが特徴だ。このほか、健康診断受診日の期限切れ警告機能や和暦から西暦への自動変換機能を有し、